



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所 東

コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 松尾 和利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 太田 裕彦

TEL 03-6262-8400

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	573	8.0	119	14.7	145	38.2	106	45.6
2022年3月期第1四半期	530	11.5	104	99.3	105	107.5	73	126.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	27.68	27.67
2022年3月期第1四半期	19.02	19.01

(注)2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,611		3,142			68.1
2022年3月期	4,331		3,110			71.8

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 3,142百万円 2022年3月期 3,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

・2022年3月期期末配当金内訳 普通配当30円00銭 記念配当(上場15周年記念の記念配当)10円00銭

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	6.4	230	5.1	280	1.3	173	2.7	44.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	3,909,400 株	2022年3月期	3,905,800 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	60,472 株	2022年3月期	60,472 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	3,846,708 株	2022年3月期1Q	3,843,418 株

(注)2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における、当社の主要顧客である電子部品業界は、引き続き半導体等に対する旺盛な需要の追い風を受けて、特に製造分野を中心として概ね好調な状況が継続しております。しかしながらメモリやスマートフォン向け電子部品等の一部において、供給量が需要量を上回る現象が発生しており、先行きの見通しに若干の陰りが散見されるようになって来ました。

このような状況の中当社は、アナログLSIおよびパワー半導体の設計分野向けに製品開発のリソースを集中して、6月末に当社の主力製品：SX-Meisterの最新バージョンをリリースしました。製品の販促活動において、特に海外市場向けに大きく売上を伸ばしました。またデバイスの設計受託サービスにおいては、こここのところ拡大しつつある設計委託の需要を受けて、順調に業績に貢献しました。

こういった活動の結果、売上高が5億73百万円（前年同四半期比8.0%増）となり、営業利益は1億19百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。経常利益は、助成金収入に加えて円安による為替差益等を計上したことにより、1億45百万円（前年同四半期比38.2%増）となり、四半期純利益は1億6百万円（前年同四半期比45.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して2億79百万円（6.5%）増加し46億11百万円となりました。内訳として流動資産は2億68百万円（6.6%）増加し43億24百万円、固定資産は11百万円（4.1%）増加し2億86百万円となりました。

流動資産が増加した主な要因は、受取手形及び売掛金が78百万円（21.4%）減少し2億88百万円となった一方で、現金及び預金が2億92百万円（8.5%）増加し37億48百万円となったことによるものであります。固定資産が増加した主な要因は、繰延税金資産が8百万円（12.5%）減少し60百万円となった一方で、投資有価証券が12百万円（11.4%）増加し1億20百万円となったこと及び、無形固定資産が11百万円（187.7%）増加し17百万円になったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して2億48百万円（20.3%）増加し14億68百万円となりました。内訳として流動負債は前事業年度末と比較して2億48百万円（20.4%）増加し14億62百万円、固定負債は前年同四半期と同額の6百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が3億39百万円（40.7%）増加し11億72百万円となったことによるものであります。固定負債の内訳は資産除去債務であります。

純資産は、前事業年度末と比較して31百万円（1.0%）増加し31億42百万円となりました。純資産が増加した要因は、利益剰余金の増加29百万円（2.0%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の71.8%から68.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました2023年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,456,311	3,748,480
受取手形及び売掛金	367,870	288,969
電子記録債権	186,072	235,192
仕掛品	3,049	1,426
原材料	1,411	2,163
その他	41,180	48,045
流動資産合計	4,055,895	4,324,279
固定資産		
有形固定資産	45,238	42,197
無形固定資産	6,046	17,391
投資その他の資産		
投資有価証券	108,472	120,792
繰延税金資産	69,006	60,381
その他	46,882	46,070
投資その他の資産合計	224,360	227,244
固定資産合計	275,645	286,833
資産合計	4,331,540	4,611,113
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,503	70,966
未払法人税等	66,332	23,155
賞与引当金	87,563	46,896
前受金	833,280	1,172,785
その他	119,619	148,711
流動負債合計	1,214,298	1,462,514
固定負債		
資産除去債務	6,310	6,310
固定負債合計	6,310	6,310
負債合計	1,220,608	1,468,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	761,496	762,421
資本剰余金	892,415	893,340
利益剰余金	1,485,548	1,515,118
自己株式	△28,639	△28,639
株主資本合計	3,110,820	3,142,241
新株予約権	111	46
純資産合計	3,110,932	3,142,288
負債純資産合計	4,331,540	4,611,113

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	530,789	573,109
売上原価	151,436	173,301
売上総利益	379,353	399,807
販売費及び一般管理費	274,771	279,889
営業利益	104,582	119,917
営業外収益		
受取利息	5	5
為替差益	—	19,106
助成金収入	7,120	6,736
営業外収益合計	7,125	25,848
営業外費用		
為替差損	122	—
投資事業組合運用損	6,314	298
営業外費用合計	6,436	298
経常利益	105,270	145,467
税引前四半期純利益	105,270	145,467
法人税、住民税及び事業税	30,793	30,365
法人税等調整額	1,368	8,624
法人税等合計	32,161	38,990
四半期純利益	73,109	106,476

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期累計期間における財務諸表への影響はありません。